

■一般目標 (GIO)

人工歯排列までの全部床義歯技工学の理論および製作の技工術式を基に、ろう義歯を作製する。全部床義歯完成までの各工程について、さらに理論と技工操作の知識および技術の向上を目指し、安定した咬合関係の再現、発音および審美性の回復を図り、無歯顎患者の健康増進に寄与する全部床義歯の製作法を習得する。

■到達目標 (SBOs)

- ・義歯の維持安定、咀嚼および発音機能を向上させることを目的に、歯肉形成の術式を習得できる。
- ・咬合床の構成要素および使用目的と意義を理解できる。
- ・両側性平衡咬合の咬合様式について目的・意義を理解できる。
- ・上顎法で行う排列法の術式を習得できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：木曜日 18:50～21:15

■オフィスアワー：今井 秀行 (imai.hideyuki@nihon-u.ac.jp) 木曜日・17:00～17:45

■成績評価：実習製作物を評価（100%）し、フィードバックを行う。

■注意事項：定められた工程で検印を受け先に進める。検印のない製作物は評価しないので注意すること。

■授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。

■準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：必要な時間（1時間程度）を充てて予習を行うこと。

■実務経験：今井 秀行：歯科技工士としての臨床経験をもとに、他教科も含めた口腔内全体の機能と補綴装置の関わりを考慮した補綴装置の製作方法をわかりやすく丁寧に教えていく。

■関連教科：有床義歯技工学（全部床義歯技工学）（1年）

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月6日 今井 秀行 高宮 英紀 梅沢 岳司	1. 歯肉形成 1) 上顎唇, 頬側部	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内を参考に形成することにより、義歯の維持安定、咀嚼および発音機能を向上させることを理解できる。 ・義歯の維持安定、咀嚼および発音機能を向上させることを目的に、歯肉形成の術式を習得できる。
第2回4月13日 今井 秀行 他	1. 歯肉形成 2) 下顎唇, 頬側部	<ul style="list-style-type: none"> ・義歯の維持安定、咀嚼および発音機能を向上させることを目的に、歯肉形成の術式を習得できる。
第3回4月20日 今井 秀行 他	1. 歯肉形成 3) 上顎口蓋部歯肉形成	<ul style="list-style-type: none"> ・義歯の維持安定、咀嚼および発音機能を向上させることを目的に、歯肉形成の術式を習得できる。 ・歯頸部の位置およびS字状隆起の重要性を理解し、形成法の術式を習得できる。 ・歯頸部の位置および舌側部の凹面形態の重要性を理解し、形成の術式を習得できる。 ・上下顎の歯肉形成の細部を点検し、ろう義歯を完成できる。
第4回4月27日 今井 秀行 他	1. 歯肉形成 4) 下顎舌側部歯肉形成 2. ろう義歯の完成・提出	<ul style="list-style-type: none"> ・義歯の維持安定、咀嚼および発音機能を向上させることを目的に、歯肉形成の術式を習得できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
	3. 上下無歯顎模型の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯頸部の位置およびS字状隆起の重要性を理解し、形成法の術式を習得することができる。 ・ 歯頸部の位置および舌側部の凹面形態の重要性を理解し、形成の術式を習得することができる。 ・ 上下顎の歯肉形成の細部を点検し、ろう義歯を完成できる。
第5回 5月11日 今井 秀行 他	4. 作業用模型の調整 1) 歯槽頂線の記入 2) 後堤法の調整 3) 緩衝腔の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人工歯排列の基準線となる歯槽頂線の意義と設定法を理解できる。 ・ 後堤法の目的を理解し、その中から Swenson 法の設定法を習得できる。 ・ 緩衝法の目的、設定位置および技工の術式を習得できる。
第6回 5月25日 今井 秀行 他	5. 咬合床 1) 咬合床の圧接 2) 標準線の記入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準値で標示線(標準線)を咬合堤の唇側面に記入し、咬合採得後、前歯部の人工歯選択や排列の基準となる事を説明できる。 ・ 既製の咬合床を作業用模型に圧接し、圧接の方法を習得する。 ・ 咬合床上に標準線の記入を行い、記入の方法を習得する。
第7回 6月1日 今井 秀行 他	6. 作業用模型の咬合器装着 1) 作業用模型の装着 2) 標準線の記入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 咬合床が圧接された作業用模型を咬合平面板を用いて咬合器の基準に合わせて装着する方法を習得する。
第8回 6月8日 今井 秀行 他	7. 人工歯排列 1) 上顎前歯部排列 2) 下顎前歯部排列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上顎法で排列する方法を説明できる。 ・ 上顎前歯部は、下顎咬合床を基準に審美性を考慮した排列法を説明できる。 ・ 前歯部切縁は下顎咬合堤外縁を基準に排列し、前歯部排列法を習得する。 ・ 上顎前歯部排列において、作業効率を考慮した器具の使用方法を習得する。
第9回 6月15日 今井 秀行 他	7. 人工歯排列 1) 上顎前歯部排列 2) 下顎前歯部排列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上顎法で排列する方法を説明できる。 ・ 上顎前歯部は、下顎咬合床を基準に審美性を考慮した排列法を説明できる。 ・ 前歯部切縁は下顎咬合堤外縁を基準に排列し、前歯部排列法を習得する。 ・ 上顎前歯部排列において、作業効率を考慮した器具の使用方法を習得する。 ・ 下顎臼歯部排列は、上下顎が1歯対2歯に咬合する排列法を説明できる。 ・ 下顎臼歯部排列は中心咬合位において左右下顎第一大臼歯、第二小臼歯、第一小臼歯第二大臼歯の順に1歯対2歯の排列を行い、下顎臼歯部排列法を習得する。
第10回 6月22日 今井 秀行 他	7. 人工歯排列 2) 下顎前歯部排列 3) 上顎臼歯部排列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上顎法の臼歯部排列は、歯槽頂間線の法則を考慮し、調節彎曲を付与した排列法を説明できる。
第11回 6月29日 今井 秀行 他	7. 人工歯排列 3) 上顎臼歯部排列 4) 下顎臼歯部排列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上顎法の臼歯部排列は、歯槽頂間線の法則を考慮し、調節彎曲を付与した排列法を説明できる。 ・ 下顎臼歯部排列は中心咬合位において左右下顎

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
		第一大臼歯，第二小臼歯，第一小臼歯第二大臼歯の順に1歯対2歯の排列を行い，下顎臼歯部排列法を習得する。 ・下顎臼歯部排列は，上下顎が1歯対2歯に咬合する排列法を説明できる。 ・下顎臼歯部排列は中心咬合位において左右下顎第一大臼歯，第二小臼歯，第一小臼歯第二大臼歯の順に1歯対2歯の排列を行い，下顎臼歯部排列法を習得する。
第12回7月6日 今井 秀行 他	7. 人工歯排列 3) 上顎臼歯部排列 4) 下顎臼歯部排列	・上顎法の臼歯部排列は，歯槽頂間線の法則を考慮し，調節彎曲を付与した排列法を説明できる。 ・下顎臼歯部排列は中心咬合位において左右下顎第一大臼歯，第二小臼歯，第一小臼歯第二大臼歯の順に1歯対2歯の排列を行い，下顎臼歯部排列法を習得する。 ・下顎臼歯部排列は，上下顎が1歯対2歯に咬合する排列法を説明できる。 ・下顎臼歯部排列は中心咬合位において左右下顎第一大臼歯，第二小臼歯，第一小臼歯第二大臼歯の順に1歯対2歯の排列を行い，下顎臼歯部排列法を習得する。
第13回7月13日 今井 秀行 他	7. 人工歯排列 3) 上顎臼歯部排列 4) 下顎臼歯部排列	・上顎法の臼歯部排列は，歯槽頂間線の法則を考慮し，調節彎曲を付与した排列法を説明できる。 ・下顎臼歯部排列は中心咬合位において左右下顎第一大臼歯，第二小臼歯，第一小臼歯第二大臼歯の順に1歯対2歯の排列を行い，下顎臼歯部排列法を習得する。 ・下顎臼歯部排列は，上下顎が1歯対2歯に咬合する排列法を説明できる。 ・下顎臼歯部排列は中心咬合位において左右下顎第一大臼歯，第二小臼歯，第一小臼歯第二大臼歯の順に1歯対2歯の排列を行い，下顎臼歯部排列法を習得する。
第14回7月20日 今井 秀行 他	7. 人工歯排列 4) 下顎臼歯部排列	・下顎臼歯部排列は，上下顎が1歯対2歯に咬合する排列法を説明できる。 ・下顎臼歯部排列は中心咬合位において左右下顎第一大臼歯，第二小臼歯，第一小臼歯第二大臼歯の順に1歯対2歯の排列を行い，下顎臼歯部排列法を習得する。
第15回7月27日 今井 秀行 他	8. 歯肉形成 1) 上顎唇，頬側部	・上顎唇頬側部，下顎唇頬側部，上顎口蓋側，下顎舌側部にワックスを追加し，上顎唇頬側の歯肉形成を行う。